

カードゲーム授業に効果

アレルギーや犬の飼い方 尾鷲などの児童学ぶ

食物アレルギーと犬の飼育方法についてそれぞれ学べるカードゲームを、紀北町や尾鷲、松阪市などの小学校が授業に取り入れている。開発した順天堂大学医学部の堀口逸子助教(49)(公衆衛生学)は各校で児童が熱心に遊び、学習の効果が見られるとして、全国の学校関係者にPRしているという。

食物アレルギーがテーマの「らんらんランチ」は高学年向けで、卵やエビなどのアレルギーを引き起こす物質アレルギーと、ハンバーグや牛丼などメニューの2種類のカードを使う。メニューカードには、材料に含まれるアレルギーが書かれている。手にしたカードに書かれたアレルギーを避けながら5日分のランチメニューを考えることで、食物アレルギーがある人の疑似



「わんわんカルテット」で遊ぶ児童(尾鷲市で)

体験ができる。栄養のバランス良くカードをそろえる点が得られる。犬のしつけや病気について学ぶ「わんわんカルテット」は低学年向け。健康状

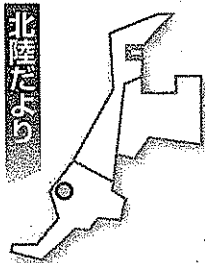
態の点検やしつけの仕方など、項目ごとに8色に分かれたカードを、相手と交換しながら、同じ色にそろえる。尾鷲保健福祉事務所は18日、尾鷲市立賀田小学校の1〜3年の児童16人を対象にした動物愛護の授業に、このゲームを取り入れた。3年の大川真愛ちゃん(9)は「飼う犬には年に1回、狂犬病の予防注射をしなければいけないことが分かった」と話していた。

斜面覆うスイセン見頃

越前海岸の斜面でスイセンが咲き誇っている。同海岸はスイセンの国内3大群生地とされ、栽培面積60%は日本一。見頃に合わせ、地域の観光協会が多彩なイベントを企画している。

21、22日午前10時～午後4時、南越前町の河野シーサイドパークで越前ガニの鍋や丼、ブリやイカの海鮮丼などを扱う屋台20

店が並ぶ「荒波フェスタ」がある。28、29日の午前9時～午後4時には、越前町のアクティブハウス越前で「水仙・カニフェア」が開催される。越前ガニや甘エビ、カレイの干物などをそろえた特産市が人気を集めそうだ。



※福井県 越前海岸